



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに紹介します。

3冊から
かいじゅうたちのいるところ
コロナのせいで、毎日なんだか
息苦しいね。
マスクといっしょにかいじゅうおどりを
してみたい？ ちょっと スッキリするかも
絵をよ〜く見てね。
わたしに絵本のすばらしさを
教えてくれた、たいせつな1冊です。



『かいじゅうたちのいるところ』
作/モーリス・センダック
訳/じんぐうてるお
富山房
かいじゅうの国をたずねよう。コルデ
コット賞を受賞し、世界中の子もたち
をひきつけてやまないセンダックの代表
作。子どもの内面のドラマをみごとに描
いています。

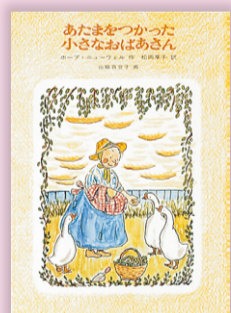
4冊から
おつきさまひとつづつ
南極にも 中国にも
アフリカにも 中国にも
イギリスにも バトナムにも
ひとつづつ月があると考える
アコちゃん! かわいい...
ほっこり 幸せな気分
につつまれます。
秋は月がきれいです。
夜空を見上げよう。



『おつきさまひとつづつ』
作/長野ヒデ子
童心社
月がでています。あこちゃん、おかあさん
と一緒にかえります。「おかあさん、アフリ
カにもおつきさまある?」「あるわよ」あこ
ちゃんはほっとしました。「おつきさまが
みーんなにひとつづつあって、よかったね」

低学年から
あたまをつかった小さなおばあさん
「つかわないうんたら、あたまなんかもつて、
なんのやくにたつね?」が口ぐせのおばあさん。
でも、おばあさんのあたまの使いかたは、ちよと変。
思わず、くすっと笑ってしまいます。
短いお話がいくつも入っているので、
楽に読めます。誰かに読んでもらうのも
楽しいよ! 続きもあり。🌷🌷🌷

『あたまをつかった小さなおばあさん』
作/ホープ・ニューウェル
訳/松岡享子
画/山脇百合子
福音館書店



小さな黄色い家に住む小さなおばあさんは、
とてもしょうずに頭を使って、なんでも解決し
てしまいます。お金のかかる羽ぶとんを買う
代わりに、がちょうを12羽買ったおばあさん。
でも、羽をむしたらがちょうが寒くてかわい
そう。ぬれタオルで頭をしばり、人差し指を鼻
の横にあてて目をつぶり、一生懸命に頭を使
いおばあさんが考えついたことは……。そ
れって本当にかしいこと?とってしまう
楽しいお話がいっぱい。

白根さんってどんな人?

福岡県筑後市生まれ。福岡県立図書館の司書や佐賀女子短期大学の教員を勤め、現在は同短大の名誉教授です。もともと本が好きで、辞典を開いて知らない言葉に出会うことが楽しみでした。3人の子育て中に多くの絵本や本を知り、特に今回紹介した『かいじゅうたちのいるところ』が子どもの本に深くかかわるきっかけになりました。



佐賀県立図書館「ココロざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています!